

# 平成 26 年度事業報告書

NPO法人COREnnection

## 1. 事業の成果

### <実施した内容>

活動初年度となった平成 26 年度は「就労支援」・「居場所創り」のシステム構築の 1 年となった。参加予定であった当事者の方は症状の進行に伴い当法人の支援が当てはまらなくなった為、ボランティアスタッフ（約 3 名）とともに当事者の方との協働予定である今後の収益事業の準備を毎月第 2・4 木曜日に行った。また販路確保の第一歩、及び啓発活動として「湊川手しごと市」への出展を 11 月より継続的に行った。26 年度は「神戸市パートナーシップ活動助成」対象団体となり、活動及び収益事業の初期投資として様々な備品購入が可能となった。

### <活動により達成された成果>

結果的に準備期間となり、新たな当事者の方をお迎えする事は出来なかったが収益事業（主にレザー製品の作製・販売）を確立する事ができた。よって僅かではあるが「お金が流れる仕組み」を創る事が出来た。それにより収益事業に協力してくださる方々へ謝礼等を支払う事が可能となり、社会的信頼関係を築く事が出来た。結果、今後の事業への協力も仰ぐことが可能となった。また、当法人の狙いの 1 つである「介護福祉業界以外の方々に認知症・若年性認知症を知って頂く」事も達成された。ボランティアとして主婦や大学生が参加して下さり、異業種の方々も協力企業として参加して下さった。また、少しずつ認知して頂いた事により、マスコミ等からの問い合わせも数件あった。

### <主な活動履歴>

年間を通し、月に 2 回（第 2・4 木曜日）の活動を行った。また、11 月～3 月にかけては「湊川手しごと市」への出展を行った。その間、神戸市社会福祉協議会の方とはこちらの進捗状況等を共有した。また介護老人保健施設青い空の郷内「若年性認知症サロン」主宰者へのパンフレット・会報誌発送等を行った。

### <今後の展望・残された課題>

結果的に平成 26 年度は環境整備及び収益事業のシステム構築となった。当事者の方を数名ではあるが受け入れる体制が整いつつある為、次年度はボランティアスタッフの充実を行いたい。そして当事者の方・神戸市内の福祉事業従事者に当法人を知って頂く活動を行いたい。無償ボランティアでは人材確保が難しい為、数年後には有償ボランティア及びスタッフの雇用へと移行していきたい。また、神戸市西区にある無花果農園の方も協力くださる予定なので将来的には食品加工等を行える事業所へと発展させたい。

## 2. 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	プロジェクト内容	実施月 実施回数	実施場所	対象者	収益
(A) 各支援法律に基づく保険、医療に関連する相談支援事業の実施	当事者家族のための相談会	実施せず			0
	対象家族への勉強会実施	実施せず			0
(B) 障害者や要介護者の社会参加支援のための会報、研究誌の発行	会報誌発行	3月 1回	事務所	関係者・支援者等	△¥5,096
(C) 社会教育の推進を図る活動	福祉用具体験会にてポスター発表	7月 1回	西宮福祉用具体験会	医療・福祉従事者 被介護者	△¥4,665
	講演活動の実施	実施せず			0

## 3. その他の事業

事業名	事業内容	実施日 時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
(D) 収益事業	レザー&ペーパークラフトの加工・販売	通年	事務所 及び 湊川公園	ボランティア 3名	¥325,850

## 4. 事業実施体制

### (1) 事務局体制

事務局長：山口伊織 事務局スタッフ：

### (2) 会員

正会員 12名

賛助会員 4名

準会員 0名

### (3) 連携団体

神戸市社会福祉協議会福祉事業2課

介護老人保健施設青い空の郷内「若年性認知症サロン」